



## 2021年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月5日

上場会社名 インспек株式会社

上場取引所 東

コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理部長 (氏名) 佐藤 真

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 2021年3月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年4月期第3四半期の連結業績(2020年5月1日～2021年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	1,245	27.9	272		238		862	
2020年4月期第3四半期	1,726	18.2	40	83.1	77	57.2	54	65.6

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期 859百万円 ( %) 2020年4月期第3四半期 24百万円 ( 85.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	227.81	
2020年4月期第3四半期	16.02	15.80

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期第3四半期	3,166	1,119	30.9	257.99
2020年4月期	3,805	1,949	47.6	479.84

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 977百万円 2020年4月期 1,809百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		0.00		3.00	3.00
2021年4月期		0.00			
2021年4月期(予想)					

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年2月25日に公表いたしました「特別損失の計上及び連結業績予想の修正並びに剰余金の配当予想(期末配当)に関するお知らせ」に記載のとおり、当期末における配当予想額を未定に修正しておりますが、予想額の開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

### 3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,715	28.5	373		413		1,039		274.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年1月31日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期3Q	3,790,200 株	2020年4月期	3,772,100 株
期末自己株式数	2021年4月期3Q	156 株	2020年4月期	61 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期3Q	3,783,875 株	2020年4月期3Q	3,414,909 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年5月1日～2021年1月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が制限され、先行き不透明な状況が継続しております。また、米中貿易摩擦につきましては米国で新政権が誕生したものの、現時点では前政権の政策からの大きな変更はなく、米中関係の大幅な改善は期待できず、当面現在の状況が続くものと見込まれます。わが国経済につきましては、活動制限の緩和や国の景気浮揚政策により一部で経済活動が戻りつつありましたが、2021年1月に首都圏を中心に再度発出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の影響により、経済活動の回復に遅れが見られる状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,245百万円(前年同期比27.9%減)、営業損失は272百万円(前年同期は営業利益40百万円)、経常損失は238百万円(前年同期は経常利益77百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、投資有価証券評価損及びのれん償却額の特別損失計上などにより862百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業(当社)

当第3四半期連結累計期間の前半におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として2020年4月に発出された緊急事態宣言後は出張自粛などにより受注活動が一時停滞するなどの影響を受け、海外案件におきましては現地での受け入れ態勢が整っていないことなどによる納入遅延が発生しました。当期間の後半から、徐々に納入遅延が解消されつつありましたが、依然として続いている海外への渡航制限や2020年前半の受注活動停滞による影響を受けた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

なお、当第3四半期連結累計期間の受注の状況につきましては、主に国内及び海外顧客からフラットベッド型検査装置を複数台受注し、受注額は659百万円(前年同期比25.6%減)、受注残高は592百万円(前年同期比30.2%減)となりました。受注状況につきましては、前年同期を下回っておりますが、停滞しておりました受注活動が徐々に回復基調にあり、また、海外におきましては中国企業向けの引き合いや商談が再開するなど全体として受注活動が持ち直してきております。

この結果、当事業の売上高は996百万円(前年同期比26.6%減)となり、セグメント損失は159百万円(前年同期はセグメント利益106百万円)となりました。

#### ②精密基板製造装置関連事業(First EIE SA)

当第3四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソター(基板のフィルム原版を印刷する装置)が売上を牽引しております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界的に受注活動が停滞する中で中国市場において一早く回復の兆しが見られ、その他の地域でも受注活動が徐々に持ち直してきておりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は248百万円(前年同期比32.4%減)となり、セグメント損失は116百万円(前年同期はセグメント損失69百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ639百万円減少し、3,166百万円となりました。これは主に、現金及び預金213百万円の増加、仕掛品98百万円の減少、のれん償却額計上に伴うのれん140百万円の減少及びパスイメージング株式会社株式並びにクラーロ株式会社(現社名:パスイメージング株式会社)第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の評価損の計上に伴う投資有価証券505百万円の減少によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ190百万円増加し、2,046百万円となりました。これは主に、短期借入金600百万円の減少、前受金104百万円の減少、長期借入金859百万円の増加によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ830百万円減少し、1,119百万円となりました。これは主に、資本金18百万円の増加、資本剰余金18百万円の増加及び親会社株主に帰属する四半期純損失862百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の通期の業績予想につきましては、2020年6月5日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細は2021年2月25日公表の「特別損失の計上及び連結業績予想の修正並びに剰余金の配当予想（期末配当）に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,204,139	1,418,047
受取手形及び売掛金	273,946	178,993
電子記録債権	680	40,792
商品及び製品	116,170	118,924
仕掛品	560,163	461,988
原材料及び貯蔵品	142,249	103,416
その他	59,661	39,516
貸倒引当金	△728	△79,542
流動資産合計	2,356,283	2,282,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	509,168	505,296
機械装置及び運搬具 (純額)	61,347	46,117
土地	92,440	92,440
建設仮勘定	74,440	156,964
その他 (純額)	35,808	32,752
有形固定資産合計	773,205	833,569
無形固定資産		
のれん	140,415	-
その他	12,478	34,276
無形固定資産合計	152,893	34,276
投資その他の資産		
投資有価証券	505,899	0
その他	17,263	16,223
投資その他の資産合計	523,163	16,223
固定資産合計	1,449,261	884,070
資産合計	3,805,544	3,166,205
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,170	136,563
短期借入金	900,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	130,810	186,772
未払法人税等	6,136	-
前受金	141,838	37,167
製品保証引当金	8,503	5,491
賞与引当金	27,927	2,923
役員賞与引当金	5,000	-
その他	67,887	76,498
流動負債合計	1,404,273	745,416
固定負債		
長期借入金	382,195	1,241,973
繰延税金負債	44,770	40,885
資産除去債務	309	311
その他	24,642	18,400
固定負債合計	451,917	1,301,569
負債合計	1,856,191	2,046,985

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,122,075	1,140,845
資本剰余金	722,609	741,378
利益剰余金	10,879	△862,448
自己株式	△106	△372
株主資本合計	1,855,458	1,019,403
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△45,480	△41,605
その他の包括利益累計額合計	△45,480	△41,605
新株予約権	124,710	128,512
非支配株主持分	14,665	12,909
純資産合計	1,949,353	1,119,220
負債純資産合計	3,805,544	3,166,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
売上高	1,726,555	1,245,347
売上原価	1,011,216	834,432
売上総利益	715,339	410,915
販売費及び一般管理費	674,716	683,222
営業利益又は営業損失(△)	40,623	△272,307
営業外収益		
受取利息	2	8
補助金収入	48,701	72,608
為替差益	—	2,747
貸倒引当金戻入額	—	62
保険解約返戻金	—	748
その他	2,267	582
営業外収益合計	50,971	76,758
営業外費用		
支払利息	9,002	14,674
手形売却損	—	887
株式交付費	—	5,599
為替差損	1,020	—
シンジケートローン手数料	3,857	19,761
その他	641	2,169
営業外費用合計	14,521	43,092
経常利益又は経常損失(△)	77,073	△238,641
特別利益		
固定資産売却益	189	—
特別利益合計	189	—
特別損失		
固定資産除却損	14	—
投資有価証券評価損	—	505,899
のれん償却額	—	120,396
特別損失合計	14	626,296
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	77,248	△864,938
法人税、住民税及び事業税	12,739	3,345
法人税等調整額	15,507	△4,044
法人税等合計	28,247	△698
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,001	△864,239
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,691	△2,227
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	54,692	△862,011

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	49,001	△864,239
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△24,149	4,545
その他の包括利益合計	△24,149	4,545
四半期包括利益	24,851	△859,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,301	△857,890
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,450	△1,802

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 ((注)1)	四半期連結 損益計算書 計上額 ((注)2)
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,358,379	368,176	1,726,555	—	1,726,555
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,358,379	368,176	1,726,555	—	1,726,555
セグメント利益又は損失 (△)	106,314	△69,664	36,650	3,973	40,623

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額3,973千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 ((注)1)	四半期連結 損益計算書 計上額 ((注)2)
	半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	精密基板製造装置関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	996,396	248,951	1,245,347	—	1,245,347
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	996,396	248,951	1,245,347	—	1,245,347
セグメント損失 (△)	△159,776	△116,649	△276,426	4,118	△272,307

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額4,118千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、当社は「精密基板製造装置関連事業」セグメントである当社連結子会社First EIE SAのCEOへ当社が保有するFirst EIE SAの全株式を譲渡する方針としたため、当該のれんの未償却残高120,396千円をのれん償却額として特別損失に計上しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。